

令和元年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書  
(平成30年度対象)

令和元年11月

人吉市教育委員会

# 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| < はじめに > .....                 | 1  |
| 人吉市教育委員会委員名簿（令和元年11月1日現在）      |    |
| 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）        |    |
| 1 教育委員会の活動及び運営状況 .....         | 2  |
| (1) 教育委員会の概要 .....             | 2  |
| 教育委員会の目的 .....                 | 2  |
| 人吉市教育委員会委員（平成30年度教育委員） .....   | 2  |
| (2) 教育委員会の主な活動内容 .....         | 2  |
| 教育委員会の活動状況 .....               | 2  |
| 教育委員会会議 .....                  | 3  |
| ① 会議の開催状況（平成30年度実績）            |    |
| ② 審議状況                         |    |
| 総合教育会議 .....                   | 3  |
| ① 会議の開催状況（平成30年度実績）            |    |
| ② 審議状況                         |    |
| 教育委員の活動 .....                  | 3  |
| ① 教育委員の所管施設訪問状況                |    |
| 2 点検評価の目的 .....                | 12 |
| 3 学識経験者の知見の活用 .....            | 12 |
| 学識経験者                          |    |
| 4 点検評価の対象 .....                | 12 |
| 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業          |    |
| 5 点検評価の結果 .....                | 13 |
| (1) 総合評価基準 .....               | 14 |
| (2) 点検評価シート                    |    |
| 学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業）..... | 15 |
| 放課後・夏休みパワーアップ教室事業 .....        | 17 |
| 学校給食食育推進事業 .....               | 19 |
| 人吉市学校支援地域本部事業 .....            | 21 |
| スポーツコーディネーター業務委託 .....         | 23 |
| 人吉球磨総合美展 .....                 | 25 |
| 史跡人吉城跡保存整備事業 .....             | 27 |
| 童話発表大会事業 .....                 | 29 |
| < 教育方針 > .....                 | 31 |

＜はじめに＞

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成30年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

## 人吉市教育委員会

### 人吉市教育委員会の構成

(令和元年11月1日現在)

|              |           |
|--------------|-----------|
| 教育長          | 末 次 美 代   |
| 委員（教育長職務代理者） | 西 口 詳 一 郎 |
| 委員           | 永 田 ミ キ   |
| 委員           | 長 船 法 文   |
| 委員           | 加 賀 邦 保   |

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 1 教育委員会の活動及び運営状況

### (1) 教育委員会の概要

#### 〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっています。

本市においては、人吉市第5次総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力しています。

#### 人吉市教育委員会委員（平成30年度のエデュケーショナル・コミッティ）

| 役職名              | 氏名                      | 就任                         | 任期満了       |
|------------------|-------------------------|----------------------------|------------|
| 教育長<br>(新制度教育長)  | 末次 美代<br>(平成27年7月1日就任)  | 平成27年7月1日<br>平成30年7月1日再任   | 令和3年6月30日  |
| 委員<br>(教育長職務代理者) | 西口 詳一郎<br>(平成27年7月1日就任) | 平成26年4月10日<br>平成30年4月9日再任  | 令和4年4月9日   |
| 委員               | 尾方 篤                    | 平成25年7月1日<br>平成29年7月1日再任   | 令和3年6月30日  |
| 委員               | 永田 ミキ                   | 平成28年10月1日<br>平成29年1月1日再任  | 令和2年12月31日 |
| 委員               | 長船 法文                   | 平成28年10月1日<br>平成29年10月1日再任 | 令和3年9月30日  |

### (2) 教育委員会の主な活動内容

#### 〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進しています。

教育長、教育委員としての見識を広め今後の本市教育行政の推進に活かすために、平成30年8月に小規模特認校である鹿児島県鹿児島市犬迫小学校及び河頭中学校を視察し、学校における計画・実践の在り方や運営方法等について理解を深めました。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年15回開催し、審議事項40件、承認・協議等8件について審議・協議を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指しています。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（平成30年度実績）

| 会 議 | 開催数 | 傍聴者数 |
|-----|-----|------|
| 定例会 | 12回 | 7人   |
| 臨時会 | 3回  | 0人   |

② 審議状況

（ア）付議案件数

|        |     |
|--------|-----|
| 議 案    | 40件 |
| 承認・協議等 | 8件  |

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 奨学生の決定について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について

〈総合教育会議〉

① 会議の開催状況（平成30年度実績）

| 会 議    | 開催数 | 開催月   |
|--------|-----|-------|
| 総合教育会議 | 2回  | 9月・2月 |

② 審議状況

|      |          |
|------|----------|
| 協議事項 | 教育委員出席状況 |
| 3件   | 4名       |

③ 会議に付された主な案件

- ・ 人吉市教育委員会の努力目標と各学校の具体的実践について
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ・ 今後の小中学校のあり方について

〈教育委員の活動〉

① 教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

| 区 分   | 対 象 | 期 日       | 教育委員出席状況 |
|-------|-----|-----------|----------|
| 小学校訪問 | 6校  | 平成30年 7月～ | 延べ 24人   |
| 中学校訪問 | 3校  | 平成30年11月  | 延べ 12人   |

## (イ) 他の主な会議・行事等

|    | 会議・行事名                | 期日                    | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|----|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 1  | 教職員辞令交付式（球磨管内）        | 平成30年4月2日             | 1名                  |
| 2  | 臨時的任用教職員辞令伝達式         | 平成30年4月2日             | 1名                  |
| 3  | 教職員人事異動に伴う辞令伝達式       | 平成30年4月2日             | 5名                  |
| 4  | 新規採用教職員宣誓式            | 平成30年4月3日             | 1名                  |
| 5  | 初任者研修連絡協議会            | 平成30年4月5日             | 1名                  |
| 6  | 学校保健推進合同会議            | 平成30年4月6日             | 1名                  |
| 7  | 球磨工業高等学校入学式           | 平成30年4月9日             | 1名                  |
| 8  | 市内小・中学校入学式            | 平成30年4月10日            | 5名                  |
| 9  | 市子ども会育成連絡協議会          | 平成30年4月18日            | 1名                  |
| 10 | 市内校長会議                | 平成30年4月18日            | 1名                  |
| 11 | 第1回食育推進委員会            | 平成30年4月18日            | 1名                  |
| 12 | 教育長・校長合同会議            | 平成30年4月19日            | 1名                  |
| 13 | 人吉球磨学校教育振興協議会総会       | 平成30年4月19日            | 1名                  |
| 14 | 熊本県教育研究所連絡協議会総会       | 平成30年4月20日            | 1名                  |
| 15 | 人吉市スポーツ推進委員総会         | 平成30年4月21日            | 1名                  |
| 16 | 人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会  | 平成30年4月23日            | 1名                  |
| 17 | 人吉文化協会定例理事会           | 平成30年4月24日            | 1名                  |
| 18 | 市内教頭・主幹教諭会議           | 平成30年4月25日            | 1名                  |
| 19 | 人吉市国際交流協会総会           | 平成30年4月26日            | 1名                  |
| 20 | 大畑校区公民館総会             | 平成30年4月27日            | 1名                  |
| 21 | 平成30年第6回教育委員会定例会      | 平成30年4月27日            | 5名                  |
| 22 | 人吉市スポーツ少年団総会          | 平成30年4月28日            | 1名                  |
| 23 | 第11回「おどんな日本一」全国少年剣道大会 | 平成30年4月28日<br>～ 4月29日 | 3名                  |
| 24 | 人吉市文化財保護委員会（第1回）      | 平成30年5月1日             | 1名                  |
| 25 | 犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第1回）     | 平成30年5月9日             | 2名                  |
| 26 | 東間校区公民館総会             | 平成30年5月10日            | 1名                  |
| 27 | 第1回学校支援推進協議会          | 平成30年5月11日            | 1名                  |

|    | 会議・行事名                             | 期日                    | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|----|------------------------------------|-----------------------|---------------------|
| 28 | 中学校体育大会（第一中、第二中）                   | 平成30年5月13日            | 2名                  |
| 29 | 人吉球磨の民謡全国大会実行委員会（第1回）              | 平30年5月15日             | 1名                  |
| 30 | 第70回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会<br>一関大会  | 平成30年5月17日<br>～ 5月19日 | 1名                  |
| 31 | 市内小学校運動会                           | 平成30年5月20日            | 5名                  |
| 32 | 平成30年度熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会          | 平成30年5月21日            | 1名                  |
| 33 | 第1回校区公民館長会議                        | 平成30年5月22日            | 1名                  |
| 34 | 教科書採択協議会                           | 平成30年5月22日            | 1名                  |
| 35 | 平成30年第7回教育委員会定例会                   | 平成30年5月25日            | 5名                  |
| 36 | 東西コミセン講座開講式                        | 平成30年5月27日            | 1名                  |
| 37 | 平成30年度NPO法人人吉市体育協会通常総会             | 平成30年5月28日            | 1名                  |
| 38 | 市内校長会議                             | 平成30年5月28日            | 1名                  |
| 39 | 市内学校安全衛生委員会                        | 平成30年5月29日            | 1名                  |
| 40 | 人吉球磨租税教育推進協議会総会                    | 平成30年5月29日            | 1名                  |
| 41 | 第57回熊本県スポーツ推進委員研修会<br>人吉市実行委員会設立総会 | 平成30年5月30日            | 1名                  |
| 42 | 放課後パワーアップ教室サポーター説明会                | 平成30年5月30日            | 1名                  |
| 43 | 人吉市立教育研究所総会                        | 平成30年6月1日             | 1名                  |
| 44 | 人吉市青少年育成市民会議総会                     | 平成30年6月2日             | 1名                  |
| 45 | 東校区公民館市民体育祭                        | 平成30年6月3日             | 1名                  |
| 46 | 西瀬コミセン成人講座開講式                      | 平成30年6月4日             | 1名                  |
| 47 | 人吉球磨地域特別支援連携協議会                    | 平成30年6月4日             | 1名                  |
| 48 | 第1回社会教育委員会                         | 平成30年6月6日             | 1名                  |
| 49 | 定例教育長会議                            | 平成30年6月6日             | 1名                  |
| 50 | 放課後パワーアップ教室開講式                     | 平成30年6月6日             | 5名                  |
| 51 | 人吉球磨特別支援学級等合同運動会                   | 平成30年6月10日            | 1名                  |
| 52 | 人吉市長と市内校長会の懇談会                     | 平成30年6月19日            | 1名                  |
| 53 | 市内教頭・主幹教諭会議                        | 平成30年6月21日            | 1名                  |
| 54 | 人吉市特別支援連携協議会                       | 平成30年6月22日            | 1名                  |

|    | 会議・行事名                 | 期日                    | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|----|------------------------|-----------------------|---------------------|
| 55 | 人吉市教育支援委員会             | 平成30年6月22日            | 1名                  |
| 56 | 中体連夏季大会                | 平成30年6月23日<br>～ 6月24日 | 1名                  |
| 57 | 学校運営協議会（人吉東小）          | 平成30年6月25日            | 1名                  |
| 58 | 学校運営協議会（第一中）           | 平成30年6月27日            | 1名                  |
| 59 | 平成30年第8回教育委員会定例会       | 平成30年6月27日            | 5名                  |
| 60 | ひとよし花まる学園大学実行員会総会      | 平成30年6月28日            | 1名                  |
| 61 | わくわくスタディ授業者選定委員会       | 平成30年6月28日            | 1名                  |
| 62 | 学校運営協議会（東間小）           | 平成30年7月3日             | 1名                  |
| 63 | （台湾）南興國中と第一中との交流会      | 平成30年7月4日             | 1名                  |
| 64 | 定例教育長会議                | 平成30年7月5日             | 1名                  |
| 65 | 御下の乱追悼式                | 平成30年7月6日             | 1名                  |
| 66 | 学校給食アレルギー対応委員会         | 平成30年7月9日             | 1名                  |
| 67 | 市内校長会議                 | 平成30年7月10日            | 1名                  |
| 68 | 第二中学校家庭教育学級            | 平成30年7月11日            | 1名                  |
| 69 | 経営訪問（第三中）              | 平成30年7月12日            | 5名                  |
| 70 | 東西コミセン短期講座「地域の安全を考える会」 | 平成30年7月13日            | 1名                  |
| 71 | 一井正典「青雲の志」育成事業報告       | 平成30年7月15日            | 1名                  |
| 72 | 学校給食運営委員会              | 平成30年7月19日            | 1名                  |
| 73 | 第34回 人吉球磨童話発表大会        | 平成30年7月22日            | 4名                  |
| 74 | 夏休みパワーアップ教室開講式         | 平成30年7月23日            | 5名                  |
| 75 | 人吉市学校安全衛生委員会           | 平成30年7月24日            | 1名                  |
| 76 | 人吉球磨人権教育研究大会全体会        | 平成30年7月26日            | 1名                  |
| 77 | 人吉球磨人権教育研究大会分科会        | 平成30年7月27日            | 1名                  |
| 78 | 第2回学校支援推進協議会           | 平成30年7月27日            | 1名                  |
| 79 | 平成30年第9回教育委員会定例会       | 平成30年7月27日            | 5名                  |
| 80 | 犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第2回）      | 平成30年7月30日            | 2名                  |
| 81 | 人吉市子ども議会事前学習会          | 平成30年8月2日             | 1名                  |
| 82 | いじめ問題対策連絡協議会           | 平成30年8月2日             | 1名                  |

|     | 会議・行事名                          | 期日                    | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|-----|---------------------------------|-----------------------|---------------------|
| 83  | 第2回校区公民館長会議                     | 平成30年8月3日             | 1名                  |
| 84  | 夏休みパワーアップ教室閉講式                  | 平成30年8月3日             | 5名                  |
| 85  | 第11回ひとよし弓道大会<br>(弓道場落成10周年記念大会) | 平成30年8月5日             | 1名                  |
| 86  | 第3回校区公民館長会議                     | 平成30年8月6日             | 1名                  |
| 87  | 熊本県教育研究所連絡協議会研究発表会              | 平成30年8月7日             | 1名                  |
| 88  | 平成30年度人吉市教育委員会視察研修              | 平成30年8月8日<br>～ 8月9日   | 5名                  |
| 89  | 臨時教育長・校長合同会議                    | 平成30年8月10日            | 1名                  |
| 90  | 第20回川上哲治旗中学生軟式野球大会              | 平成30年8月11日            | 1名                  |
| 91  | 教科用図書採択協議会                      | 平成30年8月16日            | 1名                  |
| 92  | 第16回ひとよし温泉春風マラソン第1回実行委員会        | 平成30年8月17日            | 1名                  |
| 93  | 平成30年第10回教育委員会臨時会               | 平成30年7月27日            | 5名                  |
| 94  | 人吉球磨の民謡全国大会実行委員会（第2回）           | 平成30年8月21日            | 1名                  |
| 95  | 教職員初任者研修                        | 平成30年8月22日            | 1名                  |
| 96  | 犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール予選              | 平成30年8月25日<br>～ 8月26日 | 2名                  |
| 97  | 平成30年第11回教育委員会定例会               | 平成30年8月27日            | 5名                  |
| 98  | 第73回熊本県民体育祭人吉市選手団結団式            | 平成30年8月31日            | 1名                  |
| 99  | 人吉球磨の民謡全国大会                     | 平成30年9月1日<br>～ 9月2日   | 1名                  |
| 100 | 市内校長会議                          | 平成30年9月3日             | 1名                  |
| 101 | 平成30年度第1回人吉市総合教育会議              | 平成30年9月3日             | 5名                  |
| 102 | 就学時健診事務連絡協議会                    | 平成30年9月5日             | 1名                  |
| 103 | 定例教育長会議                         | 平成30年9月10日            | 1名                  |
| 104 | 人吉球磨小中学校長・PTA合同研修会              | 平成30年9月18日            | 1名                  |
| 105 | 人吉市教育支援委員会                      | 平成30年9月21日            | 1名                  |
| 106 | 人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会            | 平成30年9月25日            | 1名                  |
| 107 | 平成30年第12回教育委員会定例会               | 平成30年9月28日            | 5名                  |
| 108 | 経営訪問（大畑小）                       | 平成30年9月28日            | 5名                  |

|     | 会議・行事名                                  | 期日                      | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|-----|-----------------------------------------|-------------------------|---------------------|
| 109 | 花まる学園大学開講式                              | 平成30年9月29日              | 1名                  |
| 110 | 第2回社会教育委員会                              | 平成30年10月1日              | 1名                  |
| 111 | 人吉市体育施設事故防止対策審議会                        | 平成30年10月2日              | 1名                  |
| 112 | 運動会（人吉東小）                               | 平成30年10月2日              | 1名                  |
| 113 | 市内教頭・主幹教諭会議                             | 平成30年10月3日              | 1名                  |
| 114 | いじめ問題対策連絡協議会                            | 平成30年10月3日              | 1名                  |
| 115 | 第32回熊本県市町村教育長研修大会                       | 平成30年10月4日<br>～ 10月5日   | 1名                  |
| 116 | 第20回川上哲治旗小学生軟式野球大会兼平成30年度青井阿蘇神社奉納少年野球大会 | 平成30年10月6日              | 1名                  |
| 117 | 国宝青井阿蘇神社奉納少年剣道大会                        | 平成30年10月6日              | 1名                  |
| 118 | 定例教育長会議                                 | 平成30年10月9日              | 1名                  |
| 119 | 平成30年度九州都市教育長協議会第1回理事会、第32回定期総会並びに研究大会  | 平成30年10月10日<br>～ 10月12日 | 1名                  |
| 120 | 東間校区公民館市民体育祭                            | 平成30年10月14日             | 1名                  |
| 121 | 経営訪問（第一中）                               | 平成30年10月15日             | 5名                  |
| 122 | 郡市中体連駅伝大会                               | 平成30年10月16日             | 1名                  |
| 123 | 市内校長会議                                  | 平成30年10月17日             | 1名                  |
| 124 | 就学時健診（中原小）                              | 平成30年10月17日             | 1名                  |
| 125 | 人吉市子ども議会                                | 平成30年10月19日             | 1名                  |
| 126 | 人吉球磨総合美展テープカット                          | 平成30年10月20日             | 1名                  |
| 127 | 中原校区公民館市民体育祭                            | 平成30年10月21日             | 1名                  |
| 128 | 大畑校区公民館市民体育祭                            | 平成30年10月21日             | 1名                  |
| 129 | 中原小学校家庭教育学級                             | 平成30年10月23日             | 1名                  |
| 130 | 総合訪問（人吉西小）                              | 平成30年10月24日             | 5名                  |
| 131 | 就学時健診（大畑小）                              | 平成30年10月25日             | 1名                  |
| 132 | 経営訪問（東間小）                               | 平成30年10月26日             | 5名                  |
| 133 | 平成30年第13回教育委員会定例会                       | 平成30年10月26日             | 5名                  |
| 134 | 犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール本選                      | 平成30年10月28日             | 1名                  |
| 135 | 就学時健診（人吉東小）                             | 平成30年10月30日             | 1名                  |

|     | 会議・行事名                           | 期日          | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|-----|----------------------------------|-------------|---------------------|
| 136 | 学校給食調理業務委託業者選定委員会                | 平成30年10月30日 | 1名                  |
| 137 | 就学時健診（人吉西小）                      | 平成30年11月1日  | 1名                  |
| 138 | 人吉文化祭テーブルカット                     | 平成30年11月3日  | 1名                  |
| 139 | 青少年育成市民会議講演会                     | 平成30年11月7日  | 1名                  |
| 140 | 英語教育特例校研究発表大会（西瀬小）               | 平成30年11月7日  | 5名                  |
| 141 | 犬童球溪顕彰音楽祭碑前祭・学校発表会               | 平成30年11月8日  | 5名                  |
| 142 | 経営訪問（人吉東小）                       | 平成30年11月9日  | 5名                  |
| 143 | 人吉市立第二中学校70周年記念式典                | 平成30年11月10日 | 1名                  |
| 144 | 教育長・校長合同会議                       | 平成30年11月13日 | 1名                  |
| 145 | 第11回「おどんな日本一」武道大会<br>第6回空手道大会    | 平成30年11月18日 | 1名                  |
| 146 | 総合訪問（中原小）                        | 平成30年11月19日 | 5名                  |
| 147 | 市内校長会議                           | 平成30年11月20日 | 1名                  |
| 148 | 第3回学校支援推進協議会                     | 平成30年11月21日 | 1名                  |
| 149 | 総合訪問（第二中）                        | 平成30年11月21日 | 5名                  |
| 150 | 球磨郡社会教育委員連絡協議会出前研修               | 平成30年11月22日 | 1名                  |
| 151 | 平成30年第14回教育委員会定例会                | 平成30年11月22日 | 5名                  |
| 152 | 犬童球溪顕彰音楽祭音楽のひろば                  | 平成30年11月23日 | 1名                  |
| 153 | 市PTA連絡協議会交流大会                    | 平成30年11月25日 | 1名                  |
| 154 | 市内教頭・主幹教諭会議                      | 平成30年11月27日 | 1名                  |
| 155 | 第65回人吉駅伝大会                       | 平成30年12月9日  | 1名                  |
| 156 | 第66回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会人吉市選手団<br>結団式 | 平成30年12月11日 | 1名                  |
| 157 | 市内校長会議                           | 平成30年12月14日 | 1名                  |
| 158 | 命の授業（第二中）                        | 平成30年12月18日 | 1名                  |
| 159 | 命の授業（第一中・第三中）                    | 平成30年12月19日 | 2名                  |
| 160 | 市内学校安全衛生委員会                      | 平成30年12月20日 | 1名                  |
| 161 | 第3回社会教育委員会                       | 平成30年12月21日 | 1名                  |
| 162 | 人吉球磨の民謡全国大会実行委員会（第3回）            | 平成30年12月27日 | 1名                  |

|     | 会議・行事名                                   | 期日                   | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|-----|------------------------------------------|----------------------|---------------------|
| 163 | 平成30年第15回教育委員会定例会                        | 平成30年12月27日          | 5名                  |
| 164 | 人吉市成人式                                   | 平成31年1月3日            | 4名                  |
| 165 | 学校給食調理業務委託業者選定委員会                        | 平成31年1月15日           | 1名                  |
| 166 | 第4回学校支援推進協議会                             | 平成31年1月16日           | 1名                  |
| 167 | 市内校長会議                                   | 平成31年1月16日           | 1名                  |
| 168 | 第4回校区公民館長会議・第3回指導員合同会議                   | 平成31年1月18日           | 1名                  |
| 169 | 平成30年度 図書館まつり                            | 平成31年1月18日           | 3名                  |
| 170 | 第62回熊本県小学校国語教育研究大会                       | 平成31年1月18日           | 1名                  |
| 171 | 家庭教育講演会                                  | 平成31年1月19日           | 1名                  |
| 172 | 市内教頭・主幹教諭会議                              | 平成31年1月21日           | 1名                  |
| 173 | 第36回熊日郡市対抗女子駅伝大会・第45回郡市対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結団式 | 平成31年1月22日           | 1名                  |
| 174 | 平成31年第1回教育委員会定例会                         | 平成31年1月25日           | 5名                  |
| 175 | 学校給食調理業務委託業者選定委員会                        | 平成31年1月28日           | 1名                  |
| 176 | 第16回ひとよし温泉春風マラソン第2回実行委員会                 | 平成31年1月31日           | 1名                  |
| 177 | 平成30年度九州都市教育長協議会第2回理事会                   | 平成31年1月31日<br>～ 2月1日 | 1名                  |
| 178 | 人吉市立教育研究所研究発表大会                          | 平成31年2月6日            | 4名                  |
| 179 | 西瀬コミセン成人講座閉講式                            | 平成31年2月10日           | 1名                  |
| 180 | 人吉市・人吉市歯科医師会連絡協議会                        | 平成31年2月12日           | 1名                  |
| 181 | 平成30年度第2回人吉市総合教育会議                       | 平成31年2月13日           | 4名                  |
| 182 | 定例教育長会議                                  | 平成31年2月14日           | 1名                  |
| 183 | いじめ問題対策連絡協議会                             | 平成31年2月14日           | 1名                  |
| 184 | 市内校長会議                                   | 平成31年2月15日           | 1名                  |
| 185 | 教科用図書採択協議会                               | 平成31年2月15日           | 1名                  |
| 186 | 第16回ひとよし温泉春風マラソン開会式                      | 平成31年2月16日           | 3名                  |
| 187 | 第16回ひとよし温泉春風マラソン                         | 平成31年2月17日           | 1名                  |
| 188 | 平成30年度熊本県市町村教育委員大会                       | 平成31年2月18日           | 3名                  |
| 189 | 犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第3回）                        | 平成31年2月19日           | 1名                  |

|     | 会議・行事名                | 期日         | 教育長<br>教育委員<br>出席状況 |
|-----|-----------------------|------------|---------------------|
| 190 | 第4回社会教育委員会            | 平成31年2月20日 | 1名                  |
| 191 | 市内教頭・主幹教諭会議           | 平成31年2月20日 | 1名                  |
| 192 | 人吉市特別支援連携協議会          | 平成31年2月22日 | 1名                  |
| 193 | 学校支援ボランティアの集い         | 平成31年2月23日 | 1名                  |
| 194 | 平成31年第2回教育委員会定例会      | 平成31年2月25日 | 4名                  |
| 195 | 放課後パワーアップ教室閉講式        | 平成31年2月27日 | 5名                  |
| 196 | 学校給食アレルギー対応委員会        | 平成31年2月27日 | 1名                  |
| 197 | 史跡人吉城跡保存整備専門指導会議（第3回） | 平成31年2月28日 | 1名                  |
| 198 | 球磨商業高等学校卒業式           | 平成31年3月1日  | 1名                  |
| 199 | 多良木高等学校閉校式            | 平成31年3月2日  | 1名                  |
| 200 | 平成31年第3回教育委員会臨時会      | 平成31年3月4日  | 2名                  |
| 201 | 中学校卒業式                | 平成31年3月10日 | 3名                  |
| 202 | 市内校長会議                | 平成31年3月14日 | 1名                  |
| 203 | 食育推進委員会総会             | 平成31年3月14日 | 1名                  |
| 204 | 市内学校安全衛生委員会           | 平成31年3月14日 | 1名                  |
| 205 | 臨時教育長・校長合同会議          | 平成31年3月14日 | 1名                  |
| 206 | 学校給食センター運営委員会総会       | 平成31年3月14日 | 1名                  |
| 207 | 草木山川学校（春版）            | 平成31年3月16日 | 2名                  |
| 208 | 第5回校区公民館長会議           | 平成31年3月20日 | 1名                  |
| 209 | 小学校卒業式                | 平成31年3月20日 | 5名                  |
| 210 | 人吉市地域学校協働本部事業         | 平成31年3月25日 | 1名                  |
| 211 | 平成31年第4回教育委員会定例会      | 平成31年3月27日 | 4名                  |
| 212 | 小学校社会体育運営委員会設立総会      | 平成31年3月27日 | 1名                  |

## 2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

教育委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら点検評価を行ったところです。

### 学識経験者

|                                |
|--------------------------------|
| 永田 政司（ながた まさし）氏<br>市PTA連絡協議会会長 |
| 荒毛 正浩（あらけ まさひろ）氏<br>元市役所職員     |
| 国武 美幸（くにたけ みゆき）氏<br>元小中学校教諭    |

## 4 点検評価の対象

令和元年度に点検評価を行う事業は、人吉市教育方針に基づき平成30年度に実施した主要な8事業としました。

人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

| 課 名   | 点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 業     |
|-------|---------------------------|
| 教育総務課 | 学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業） |
| 学校教育課 | 放課後・夏休みパワーアップ教室事業         |
|       | 学校給食食育推進事業                |
| 社会教育課 | 人吉市学校支援地域本部事業             |
|       | スポーツコーディネーター業務委託          |
| 歴史文化課 | 人吉球磨総合美展                  |
|       | 史跡人吉城跡保存整備事業              |
| 図 書 館 | 童話発表大会事業                  |

## 5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価を A～D で表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

( 1 ) 総合評価基準

| 区 分 | 評価結果に基づく改善等の内容         | 内容の詳細                                                      |
|-----|------------------------|------------------------------------------------------------|
| A   | 継続して管理・運営を進めることが適当     | 特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。                              |
| B   | 事業の進め方を改善検討し、事業は継続     | 進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。 |
| C   | 事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討 | 進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。          |
| D   | 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討      | 進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。              |

( 2 ) 点検評価シート ( 8 事業 )

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |                           |     |                          |     |         |
|----------|--------------|---------------------------|-----|--------------------------|-----|---------|
| 1        | 事業名          | 学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業） |     |                          |     |         |
| 2        | 担当課名         | 教育総務課                     |     |                          | 担当者 | 池下 哲也   |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策                        | コード | 名称                       | コード | 名称      |
|          |              |                           | 2   | 美しき相良700年の歴史<br>文化都市ひとよし | 10  | 学校教育の充実 |

| 事業の内容 |                             |         |                                                                                                                                                              |            |            |            |
|-------|-----------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 |         | 市内各小中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する市民                                                                                                                               |            |            |            |
|       | 5何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕 |         | 平成21年度に行った学校施設耐震化調査で、学校施設及び体育館の構造部材については耐震基準を満たしており安全は確保できている報告を受けている。平成26年度に屋内運動場非構造部材耐震化調査を業務委託し、安全の確保を目的として、計画的に屋内運動場非構造部材（照明設備、バスケットゴール等）の耐震化工事を行うものである。 |            |            |            |
|       | 6事業の概要                      |         | 屋内運動場の照明設備やバスケットゴール等の非構造部材が落下した場合に甚大な人的被害が及ぶ可能性が高いことから、地震・災害時における地域住民の避難場所としての機能の確保を図るとともに、安心して安全な学習環境の整備を行う。<br>・照明設備のLED化（軽量化）と落下防止策<br>・バスケットゴールの落下防止策    |            |            |            |
| 7     | コスト<br>財源<br>内訳             | 年度      |                                                                                                                                                              | 平成29年度（実績） | 平成30年度（実績） | 令和元年度（見込み） |
|       |                             | 合 計     |                                                                                                                                                              | 0千円        | 31,234千円   | 31,752千円   |
|       |                             | ① 国庫補助金 |                                                                                                                                                              | 10,515     | 10,228     |            |
|       |                             | ② 県補助金  |                                                                                                                                                              |            |            |            |
|       |                             | ③ 起 債   |                                                                                                                                                              | 20,600     | 21,524     |            |
|       |                             | ④ その他   |                                                                                                                                                              |            |            |            |
|       |                             | ⑤ 一般財源  |                                                                                                                                                              | 119        | 0          |            |

| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | <p>安心して安全な学習環境の確保と、地域住民の災害時避難所の安全確保を目的として、平成28年度から計画的に屋内運動場非構造部材の耐震化工事を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度実施：人吉東小、人吉西小、人吉二中</li> <li>・平成30年度実施：中原小、東間小、西瀬小、人吉一中</li> <li>・平成31年度実施（予定）：大畑小、人吉三中</li> </ul> |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | 屋内運動場非構造部材の耐震化工事は概ね計画通りに実施できており、平成31年度に実施する2校で全ての工事は完了する。今後は、災害時に使用する多目的トイレの設置、バリアフリー化等を検討する必要があるが、財源的に厳しい状況である。                                                                                                                 |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|-----------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 今後の事業の方向性 | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|               |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 10            |           | A    | <p>概ね計画通りに実施できており、次年度も実施予定であることからAを選択した。</p> <p>本市の学校施設の殆どが建築後相当期間を経過し、老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから財政への影響が懸念される。</p> <p>今後、改築よりも費用面・環境面での影響が少なく、改築と同様の質的向上を図ることができる長寿命化改修に目を向け、個別施設計画に基づく長寿命化計画の策定を急ぐ必要がある。財政負担の平準化やコストの削減を目的とした中長期的な施設整備計画を基に、時代のニーズに適した教育環境整備を進めていきたい。</p>              |
| 学識経験者の意見      |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 11            |           |      | <p>○本事業は体育館を使用する本市の児童生徒、教職員の安全確保はもちろん、災害発生時の市民の避難所の安全確保を図るうえでも極めて重要な事業であると考ええる。</p> <p>○予算面で厳しいと思われるが、今後、市民の利便性向上の観点から多目的トイレやバリアフリー化を実現してほしい。</p> <p>○安全確保を第一に本事業を今後も実施されたい。</p> <p>○市内の小学校において、教室から事務室・教務室へ繋ぐインターホンが設置されている学校と、それが無い学校がある。子どもたちの安全を守る観点から平等に設置すべきと考える。各教室を繋ぐことが難しいのであれば、要所（各フロア等）に設置していただければありがたい。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                                                                |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 |                                                                                                                                                                                |
|          |      |                                                                                                                                                                                |
| 12       | A    | <p>本市の学校屋内運動場を使用する児童生徒、教職員及び災害発生時の避難所として利用される市民の方の安全確保を図るうえで重要な事業である。</p> <p>万が一を想定した場合の避難所として機能を十分発揮できるよう計画的に事業を進めることが大切であり、今後もバリアフリー化、多目的トイレの設置を含めて継続して事業を進めるよう「A」を選択した。</p> |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |                   |     |                          |     |         |
|----------|--------------|-------------------|-----|--------------------------|-----|---------|
| 1        | 事業名          | 放課後・夏休みパワーアップ教室事業 |     |                          |     |         |
| 2        | 担当課名         | 学校教育課             |     |                          | 担当者 | 鵜口 光和   |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策                | コード | 名称                       | コード | 名称      |
|          |              |                   | 2   | 美しき相良700年の歴史<br>文化都市ひとよし | 10  | 学校教育の充実 |

| 事業の内容 |                             |                                                                                                                                                                                        |            |  |            |            |
|-------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--|------------|------------|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 | 市内小学校の児童                                                                                                                                                                               |            |  |            |            |
| 5     | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕  | ・児童の基礎学力の定着と向上<br>・子どもの貧困対策                                                                                                                                                            |            |  |            |            |
| 6     | 事業の概要                       | <b>【放課後パワーアップ教室】</b><br>小学校4・5・6年生を対象として、毎週水曜日の放課後1時間を利用し、国語・算数の前学年で学習した内容を中心に学習支援を行う。<br><b>【夏休みパワーアップ教室】</b><br>小学校3年生を対象として、夏休みの10日間（土日除く）、午前中の2時間を利用し、国語・算数の前学年で学習した内容を中心に学習支援を行う。 |            |  |            |            |
| 7     | コスト内訳                       | 年度                                                                                                                                                                                     | 平成29年度（実績） |  | 平成30年度（実績） | 令和元年度（見込み） |
|       |                             | 合 計                                                                                                                                                                                    | 5,990千円    |  | 6,684千円    | 5,211千円    |
|       |                             | ① 国庫補助金                                                                                                                                                                                |            |  |            |            |
|       |                             | ② 県補助金                                                                                                                                                                                 |            |  |            |            |
|       |                             | ③ 起 債                                                                                                                                                                                  |            |  |            |            |
|       |                             | ④ その他                                                                                                                                                                                  | 5,000      |  | 6,000      | 4,740      |
|       |                             | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                                                 | 990        |  | 684        | 471        |

| 事業の成果と課題 |                                                         |                                                                                                                                   |
|----------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8        | 成果・実績<br><b>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</b> | 放課後パワーアップ教室は266人（H29：245人）が受講し、45人の学習サポーターがボランティアで指導した。また、夏休みパワーアップ教室は105人（H29：104人）が受講し、高校生を含む67人の学習サポーターの協力のもと、児童の基礎学力の定着が図られた。 |
| 9        | 今後の課題や改善等                                               | ・学習サポーターの確保。<br>・学校によって本事業に対する温度差がある。<br>・同じ事業を長年継続していることのマンネリ化の解消。                                                               |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|-----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 今後の事業の方向性 | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                    |
|               |           | B    | <p>・本市児童の基礎学力の定着と向上を図り、学習意欲を高めるためのこの事業は保護者からの期待も大きい。しかしながら、その成果を数値に表すことが困難であることも事実。また、毎年度、教員O Bなど学習サポーターの確保に苦慮している。</p> <p>・長年継続している事業のため、財政課からは廃止（縮小・代替）を含めた検討を求められている。現在、県補助金を基に支払っている学習サポーター報酬の今後の見通しが不明であることで事業の検討が必要とされている。</p> |
| 10            |           |      |                                                                                                                                                                                                                                      |

| 学識経験者の意見 |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11       |  |  | <p>○参加者が参加する事業であることから、意欲や期待を持って参加していると考えられる。参加者の最初の思いや願い、目標など数値化できない項目について具体的にできるならば、途中の進捗状況や年度最後の到達度などが出せるのではないだろうか。成果が見えなければ効果を図ることはできない。教育は数値にできない部分が多いことから、長い目で見た事業であってほしい。また、やるからには参加者自身も成果を実感できるようにすべきと考える。</p> <p>○児童の学力向上、とりわけ家庭の事情等で学習塾に行くことができない児童にとっては、基礎学力の向上に大きく寄与するものとして評価できることから、今後も継続してほしい。</p> <p>○課題として、学校間で本事業の取り組みや実施回数にばらつきがあるが、その原因や対応策について協議され、市内児童4～6年生全員がこの事業を等しく利用できるよう環境整備をお願いしたい。</p> <p>○学習サポーターの確保については、広報ひとよしや市ホームページ、報道機関等を活用して本事業の周知及び登録者募集を定期的に行うことが必要である。また、社会教育課と連携して学校支援ボランティア登録者に対しても本事業での周知や参加を依頼するなど、新規登録者の拡大を図るよう検討されたい。</p> <p>○事業を廃止すれば学力低下が懸念される。成果がでるまでには、2～3年程要すると思うが、プリント類等の教材を民間の協力を得て実施し、成果をみる手もあると思う。他自治体の先行事例を調べてみてはどうか。</p> |
|          |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                          |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12       | 総合評価 | <p>基礎学力の向上の観点から事業継続が望ましい。しかしながら、学校間で取り組みにばらつきが見られることから、その格差是正が必要と考える。</p> <p>また、学習サポーターの確保対策等にも改善の余地があることから「B」を選択した。</p> |
|          | B    |                                                                                                                          |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |                 |          |                            |     |                            |
|----------|--------------|-----------------|----------|----------------------------|-----|----------------------------|
| 1        | 事業名          | 学校給食食育推進事業      |          |                            |     |                            |
| 2        | 担当課名         | 学校教育課（学校給食センター） |          |                            | 担当者 | 園田 陽助                      |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策              | コード<br>2 | 名称<br>美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし | 施策  | コード<br>10<br>名称<br>学校教育の充実 |

| 事業の内容 |                             |                                                                                                                                                              |                            |            |            |
|-------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------|------------|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 |                                                                                                                                                              | 市内小・中学校の児童・生徒及び教職員         |            |            |
|       | 5                           |                                                                                                                                                              | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕 |            |            |
|       | 6                           |                                                                                                                                                              | 事業の概要                      |            |            |
|       |                             | 子どもたちが食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において積極的に食育に取り組むことが重要となっている。そのために、各小・中学校における食育推進の取組みとして、栄養教諭と連携した授業実施計画を策定し、各学校からの栄養教諭派遣の依頼を受け食育（食に関する指導等）の授業等を行うもの。 |                            |            |            |
| 7     | コスト内訳                       | 年度                                                                                                                                                           | 平成29年度（実績）                 | 平成30年度（実績） | 令和元年度（見込み） |
|       |                             | 合 計                                                                                                                                                          | 0千円                        | 0千円        | 0千円        |
|       |                             | ① 国庫補助金                                                                                                                                                      |                            |            |            |
|       |                             | ② 県補助金                                                                                                                                                       |                            |            |            |
|       |                             | ③ 起 債                                                                                                                                                        |                            |            |            |
|       |                             | ④ その他                                                                                                                                                        |                            |            |            |
|       |                             | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                       | 0                          | 0          | 0          |

| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |  |  |
|----------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | <p>①小学校低学年：親子給食において、保護者へ専門的な見地から説明を行った。毎回、低学年にわかりやすい手作りの教材や、教具を使って授業を進めた。</p> <p>②小学校中学年：学級活動で、食品を赤・黄・緑の三つに分けて栄養バランスの良い献立を各自作成させ、家庭の食卓を見直しどの栄養が足りないのか、何を追加すれば補えるかを考えさせた。また、熊本県で生産されている野菜の種類や給食センターと生産者の関係等を伝えることで、児童に社会的な視点で食について考えさせた。</p> <p>③小学校高学年：家庭科で五大栄養素の食品を分ける取り組みを行った。だし作りについての指導では、だしの飲み比べを行い、だしの大切さについて伝えた。その後、みそ汁作りの指導を行い、児童と教諭に個別に具体的なアドバイスをを行った。</p> <p>④中学生：3年生の保健体育科で、「食生活と健康」の授業に参加した。全校集会で栄養教諭の視点で専門的な講話を行った。給食週間に給食時間の放送で給食委員長との対談形式で給食指導を行った。</p> <p>栄養教諭と連携した授業等実施による時間数は、小学校 69時間、中学校22時間と合計91時間の授業等を実施した。学校、保護者の方からは、給食と食育についてよく理解でき、食の大切さを知るきっかけになっているとの声をいただいた。</p> |  |  |  |  |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の先生方との打合せ時間を確保することを検討する。</li> <li>・年間計画で授業実施期間が偏る傾向がみられるので、学校ごとに計画的な授業実施が必要になる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |  |  |  |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|-----------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 今後の事業の方向性 | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|               |           | A    | <p>今後も、食育の推進の取組みとして、本市の児童・生徒へ食を通して地域等を理解することや、食文化の警鐘を図ること、また、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、各小・中学校において栄養教諭と連携した授業実施計画に従い、食育（食に関する指導）の授業等の充実と計画的な実施を推進していきたい。。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 10            |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学識経験者の意見      |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 11            |           |      | <p>○食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることなど食育の推進は極めて重要な事業である。この事業は、対象者が子ども達だけではなく、その保護者を含めた取り組みが必要と考える。そのためには、PTAでの活動の中に食育への取り組みを積極的に取り入れてほしい。</p> <p>○保健センター主管の人吉市健康増進・食育推進計画の事業と連携を密にし事業のさらなる充実を希望する。</p> <p>○食育の授業に栄養教諭が連携して指導されることは非常に素晴らしいが、栄養教諭の連携授業のみに終始しており、コストは0円である。これを事業として取り上げるべきか。食育推進事業として、授業に必要な手作り教材教具の充実や連携を取り入れやすくするためのシステム作りなど、栄養教諭のみに留まらない年間を見通した計画的な事業推進をお願いしたい。</p> <p>○事業実績は記載されているものの成果の検討がない。アンケート結果や事業後の評価などを分析し、課題等の検討が必要である。食育推進の取り組みにより、どのような成果があったのかを自己分析しその評価を行うものである。</p> <p>○小中学校全体で91時間の授業等を実施されているが、学校間の授業実施時間にばらつきが見られる。食育の授業時数について学校により差があるのか、栄養教諭と連携する計画に時数差があるのか、その分析を行い平等に時間を割りあてて実施できるよう検討されたい。</p> <p>○東小と一中への配置ではあるが、市内の小中学校の全てを平等に行う必要がある。巡回されるようお願いしたい。</p> <p>○学校からの要請による事業ではなく、食育の大切さを伝えるために積極的に行われたい。</p> <p>○子どもが自分で弁当を作って学校に持ってくる「弁当の日」の取り組みは、子どもたちが感謝の心を知り、自己肯定感を育み、失敗の中から多くを学び生きる力を身につける、大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思うようになる。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれる。そのような好循環が「弁当の日」を通じて全国に広がっている。本市でも学校によっては実施されているようであるが、このような取り組みを参考としながら、食育推進事業の展開をお願いしたい。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                                 |
|----------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 |                                                                                                                                                 |
|          | B    |                                                                                                                                                 |
| 12       |      | <p>食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることなど食育の推進は重要な事業であり、継続した事業が望まれる。食育推進には様々な取り組みが必要であり、給食時間を活用して食事の様子を観察し栄養指導を行うなど、事業の進め方に改善検討を要する部分があることから「B」を選択した。</p> |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |               |     |                          |     |        |         |
|----------|--------------|---------------|-----|--------------------------|-----|--------|---------|
| 1        | 事業名          | 人吉市学校支援地域本部事業 |     |                          |     |        |         |
| 2        | 担当課名         | 社会教育課         |     |                          | 担当者 | 山田 美智子 |         |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策            | コード | 名称                       | 施策  | コード    | 名称      |
|          |              |               | 2   | 美しき相良700年の歴史<br>文化都市ひとよし |     | 9      | 社会教育の充実 |

| 事業の内容 |                             |                                                                                                                                                                                                                           |            |  |            |  |            |
|-------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--|------------|--|------------|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 | 人吉市内小中学校の児童・生徒                                                                                                                                                                                                            |            |  |            |  |            |
| 5     | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕  | 子どもたちの健やかな成長を願い学校の教育環境をより良くするため、さらには、学校教育を通じて、未来を担う子どもたちの人材育成とよりよい社会を創るという目標もある。                                                                                                                                          |            |  |            |  |            |
| 6     | 事業の概要                       | <p>学校支援地域本部事業は、学校からの支援要請に対して地域コーディネーターが学校支援ボランティアと連絡をとり学校へ派遣する事業で、二中校区で行っている事業である。活動11年目を迎え、様々な学習支援や校外学習見守り支援などを行っている。</p> <p>平成30年度末には、地域学校協働本部と各中学校校区に支部組織を設置、学校支援活動の人吉市内全域へ活動を広げるため、また、地域学校協働活動を推進していくための体制作りを行った。</p> |            |  |            |  |            |
| 7     | コスト<br>財源<br>内訳             | 年度                                                                                                                                                                                                                        | 平成29年度（実績） |  | 平成30年度（実績） |  | 令和元年度（見込み） |
|       |                             | 合 計                                                                                                                                                                                                                       | 3,093千円    |  | 3,274千円    |  | 4,968千円    |
|       |                             | ① 国庫補助金                                                                                                                                                                                                                   |            |  |            |  |            |
|       |                             | ② 県補助金                                                                                                                                                                                                                    | 30         |  | 17         |  | 20         |
|       |                             | ③ 起 債                                                                                                                                                                                                                     |            |  |            |  |            |
|       |                             | ④ その他                                                                                                                                                                                                                     |            |  |            |  |            |
|       |                             | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                                                                                    | 3,063      |  | 3,257      |  | 4,948      |

| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | <p>&lt;平成30年度&gt;</p> <p>実績学校支援ボランティア登録者数 367人</p> <p>学校支援活動実績 支援回数 187回、 延べ支援者数 1,225人</p> <p>ボランティアの声・・・子どもたちの笑顔に元気をもらえた。ボランティア同士のつながりや地域のつながりを持てるようになった。学校の声・・・ボランティアの専門知識や技術を授業に活用することで質の高い学習ができた、校外学習の引率見守りで安全安心に学習ができた。</p> |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | <p>平成31年度からは、地域学校協働本部事業として活動を行っていくことになる。地域から学校への支援だけでなく、学校も地域へかけて活動を行うなど地域と学校は双方向の関係で連携・協働していくことになる。地域住民の方への地域学校協働活動の周知と理解が必要である。</p>                                                                                             |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                            |
|---------------|-----------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               |           | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                          |
|               |           | B    | 平成31年度から地域学校協働本部事業として、市内全小・中学校で取り組んでいく事業である。二中校区は11年の活動実績があるが、一中校区、三中校区はこれから活動を推進していく。そのためには地域住民への周知と理解、ボランティアの確保などが必要である。 |
| 10            | 今後の事業の方向性 |      |                                                                                                                            |

| 学識経験者の意見 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11       | <p>○本事業は、地域とともにある学校づくり、さらには地域住民の参画により地域教育力の向上が期待できる。学校を核としてそこに住む住民相互が繋がりを持ち、地域力を意識して生活していく機運の醸成が本事業を通して期待できるのではないかと。そのようなことから、本事業が地域学校協働本部事業として全校区に広がったことは大変喜ばしいことである。</p> <p>○学校側が、地域学校協働本部にどのようなことを依頼していいのか判らないという意見がある。</p> <p>○他自治体では、地域の祭りの企画に子どもたちが参画するなどの例がある。子どもの時から関わることで、将来、その地域の担い手になってくれるのではないかと。</p> <p>○本事業は、学校の教育環境の向上や子どもたちの人材育成、地域とのつながりを深めていく上で極めて重要な事業と考える。</p> <p>○課題として、二中校区以外の地域における本事業への周知と理解であるが、今後は町内会長への周知や公民館活動との連携をはじめ学校支援ボランティア登録者の拡大に向けた取り組みが必要である。</p> <p>○この事業の目的は、小中学生の子どもたちが地域に根ざし、地域のために草取り、ごみ拾い、祭りへの参加、高齢者の手伝いなど学校の授業以外で生きていくための術を経験させ学ばせることであるが、実際は、地域の方々に頼る部分が多くを占めている。本来の目的を逸することなく、子どもたちが考えて行動するような取り組みが必要である。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                                     |
|----------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 | <p>本事業は、学校の教育環境の向上や子どもたちの人材育成、地域とのつながりを深めていく上で極めて重要な事業である。</p> <p>学校支援ボランティア登録者の拡大に向けた取り組みや市内全域での活動展開など、地域学校協働本部事業の方向性の検討に改善の余地があることから「B」を選択した。</p> |
|          | B    |                                                                                                                                                     |
| 12       |      |                                                                                                                                                     |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |                  |          |                                |          |                               |
|----------|--------------|------------------|----------|--------------------------------|----------|-------------------------------|
| 1        | 事業名          | スポーツコーディネーター業務委託 |          |                                |          |                               |
| 2        | 担当課名         | 社会教育課            |          |                                | 担当者      | 和泉 龍二                         |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策               | コード<br>2 | 名称<br>美しき相良700年の歴史<br>文化都市ひとよし | 施策<br>13 | コード<br>名称<br>スポーツ・レクリエーションの推進 |

| 事業の内容 |                             |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |            |            |  |
|-------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|--|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 | 市内小学校に通う令和元年度に4～6年生となる（現3～5年生）の児童及びその保護者                                                                                                                                                                                                                         |            |            |            |  |
| 5     | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕  | 平成31年4月1日からの小学校運動部活の廃止に伴い、児童の運動機会の二極化の防止及び児童の生涯スポーツの入口として運動機会を創出し、かつ児童の身体機能向上及び健康増進を図るための試行と事業周知のため。                                                                                                                                                             |            |            |            |  |
| 6     | 事業の概要                       | これまでの検討委員会で協議を進めてきた事業内容（市内小学校6校の体育館及び運動場を使用し、学校単位の社会体育活動を行う。活動の内容は、特定の競技種目によらない、レクリエーションスポーツその他総合的な運動を実施する。）について、新年度からの本格移行以前に期間を設けて試行を実施し、参加児童及び保護者の意見や運営課題等の確認を行う。児童の運動指導については、スポーツコーディネーター業務をNPO法人人吉市体育協会へ委託し、指導者を派遣する。（あしきた青少年の家の派遣事業も利用し、市体協スタッフの研修も同時に行う。） |            |            |            |  |
| 7     | コスト<br>財源内訳                 | 年度                                                                                                                                                                                                                                                               | 平成29年度（実績） | 平成30年度（実績） | 令和元年度（見込み） |  |
|       |                             | 合 計                                                                                                                                                                                                                                                              | 0千円        | 1,271千円    | 2,106千円    |  |
|       |                             | ① 国庫補助金                                                                                                                                                                                                                                                          |            |            |            |  |
|       |                             | ② 県補助金                                                                                                                                                                                                                                                           |            |            |            |  |
|       |                             | ③ 起 債                                                                                                                                                                                                                                                            |            |            |            |  |
|       |                             | ④ その他                                                                                                                                                                                                                                                            |            |            |            |  |
|       |                             | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                                                                                                                           | 0          | 1,271      | 2,106      |  |

| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | 市内6小学校各10回（計60回実施）※インフルエンザで1校1回中止<br>市内対象児童（3～5年）879名の内、236名（26.85%）の児童及びサポーターとして32名の保護者の参加申込があった。<br>全体的に大きな問題もなく実施でき、参加児童も毎回笑顔で元気に参加してくれていた。参加児童からも「楽しかった」「来年度も参加したい」等の声も多く聞かれ、新年度取り組みへの大きな自信となった。 |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | 指導者の確保は、持続的な事業の推進のために欠かせないものであり、現時点では、NPO法人人吉市体育協会に業務委託を行っているが、地元指導者の育成・確保が大きな課題である。また、受益者負担の原則から、必ず会費徴収は行うが、それが要因で参加率の低下が懸念されるので、最低限度の負担となるよう心掛けて設定を行う等の調査検討が必要と考える。                                |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|-----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 今後の事業の方向性 | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|               |           | A    | <p>本年度は、新年度から小学校運動部活動が廃止されるにあたり、それに代わる児童の新しい運動機会の創出ということで、人吉市版「社会体育の形」を検討してきたが、この試行結果を受けて、児童の生涯スポーツの入口として、バランスの取れた体づくりや運動の楽しさを味わわせる場としては有効であると感じている。今後、持続可能な事業とするためには、指導者の育成・確保と併せて、参加児童の確保（運営費確保）が重要であるため、地道な事業の啓発活動を行う必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 10            |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学識経験者の意見      |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 11            |           |      | <p>○本事業は、小学校の運動部活動の廃止に伴う学校単位の世界体育活動へに取組であり、本市の子どもたちの身体機能向上や健康増進を図るうえで重要な事業と考える。</p> <p>○小学校の部活動の世界体育移行により、児童を取り巻くスポーツ環境は大きく変化しており、身近にスポーツに親しむ場や体力維持向上の場を確保できることが望ましく重要となっている。本市においては、本事業により各学校単位で運動遊びの場の確保ができたことは喜ばしい。</p> <p>○本市では、スポーツコーディネーター業務委託事業、総合型地域スポーツクラブ、各スポーツ少年団等が設置されており、市民の方にスポーツに触れる場があることを一層周知することが望まれる。</p> <p>○現状では総合型スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動では送迎の問題など課題も多い。</p> <p>○対象学年のみの事業ではなく、翌年に対象学年となる小学3年生の時点で体験させるような取り組みが必要ではないか。また、その保護者にも周知が必要であると考え。3年生の親子レクリエーションでこの社会体育を経験させればどうだろうか。</p> <p>○週1回の開催ではあるが、週2回（別日の設定）開催されれば、利用者の拡大に繋がるのではないだろうか。（週1回であれば、学習塾や習い事で参加したくても参加できない子どもがいるのではない。）指導者、サポーター、会場、予算等の検討が必要になってくると思うが。</p> <p>○あしきた青少年の家等からの専門スタッフの活用も有効であり、今後、より一層取り組まれない。</p> <p>○子育て世代を卒業した方にも指導者として参画できるような取り組みであるが参加者は少ない。指導者はできなくてもサポーターとして応援してもらうような促しが必要である。</p> <p>○今後の課題は、地元指導者の確保、育成であるが、NPO法人人吉市体育協会を通じて、市内の各種競技の体育協会、体育連盟組織への働きかけや町内会、老人会への周知、募集などを検討してほしい。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 |                                                                                                                                                                                                                        |
|          | A    |                                                                                                                                                                                                                        |
| 12       |      | <p>本市の子どもたちの身体機能向上や健康増進を図るうえで重要な事業である。身近にスポーツに親しむ場や体力維持向上の場が、少しずつ確保できているものの、多くの子どもたちが参加できるよう様々な面で検討し改善する余地がある。</p> <p>また、進捗状況は順調であるものの、今後の指標（数値目標）を明確にし、それに向けた取り組みが必要である。</p> <p>今後継続して管理・運営を進めることが適当と判断し「A」を選択した。</p> |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |                                                  |                                                                                                                                                                                                             |            |                            |            |                                  |
|----------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------|------------|----------------------------------|
| 1        | 事業名                                              | 人吉球磨総合美展                                                                                                                                                                                                    |            |                            |            |                                  |
| 2        | 担当課名                                             | 歴史文化課                                                                                                                                                                                                       |            |                            | 担当者        | 三坂 真由美                           |
| 3        | 総合計画における政策体系                                     | 政策                                                                                                                                                                                                          | コード<br>2   | 名称<br>美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし | 施策         | コード<br>11<br>名称<br>市民芸術・文化の振興と継承 |
| 事業の内容    |                                                  |                                                                                                                                                                                                             |            |                            |            |                                  |
| 4        | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕                      | 人吉球磨の芸術愛好家、熊本県・宮崎県・鹿児島県の芸術愛好家                                                                                                                                                                               |            |                            |            |                                  |
| 5        | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕                       | 人吉球磨の魅力を広く啓発するとともに、人々の芸術文化に対する情操を豊かにし、芸術文化の振興・奨励・普及および地域文化の発展を図る。                                                                                                                                           |            |                            |            |                                  |
| 6        | 事業の概要                                            | <p>今年で66回目を迎える歴史ある美術展。</p> <p>人吉市教育委員会・人吉美術協会・熊本日新聞社の主催で毎年10月中旬に行われる。</p> <p>絵画・デザイン・彫刻・書道・工芸・写真の6部門があり、出品作品は審査後、入賞入選作品が展示される。</p> <p>出品作品以外にも、審査員・招待作家の作品展示や企画展と同時に、人吉球磨の高校生を対象とした生徒作品展も行われる。</p>          |            |                            |            |                                  |
| 7        | コスト内訳                                            | 年度                                                                                                                                                                                                          | 平成29年度（実績） | 平成30年度（実績）                 | 令和元年度（見込み） |                                  |
|          |                                                  | 合 計                                                                                                                                                                                                         | 2,678千円    | 2,902千円                    | 3,588千円    |                                  |
|          |                                                  | ① 国庫補助金                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                                  |
|          |                                                  | ② 県補助金                                                                                                                                                                                                      |            |                            |            |                                  |
|          |                                                  | ③ 起 債                                                                                                                                                                                                       |            |                            |            |                                  |
|          |                                                  | ④ その他                                                                                                                                                                                                       |            |                            |            |                                  |
|          |                                                  | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                                                                      | 2,678      | 2,902                      | 3,588      |                                  |
| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                             |            |                            |            |                                  |
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | <p>平成30年度の出品者数は203名、出品数は303点。</p> <p>入賞入選作品等（審査員・招待作家・高校生含む）の展示総数は288点。展示期間中の来場者は1,530名。</p> <p>出品者数・出品点数・来場者数すべて昨年度より減少しているが、例年多彩な作品展示（平成30年度は第65回の特別企画として、絵画・宮崎精一氏、工芸・村山一壺氏の遺作展を実施）を行い、来場者からは概ね好評である。</p> |            |                            |            |                                  |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | <p>出品者の固定化と高齢化により、年々出品者が減少している状況である。</p> <p>事務局での早期周知もだが、部門によっては新規出品者獲得のための周知に尽力していただいているので、各部門で同じように協力いただけると出品者の拡大が図れるものと思われる。</p>                                                                         |            |                            |            |                                  |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-----------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 今後の事業の方向性 | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                 |
| 10            |           | B    | <p>芸術文化は、日々の生活にゆとりや潤い、精神的な安定を与えてくれる。さらに、芸術文化に触れることで情緒豊かな感性が育まれ、人間関係に調和と思いを与えることから社会に安定と安心がもたらされる。</p> <p>このことから、事業の継続が望ましいと考えるが、出品者の高齢化に伴う出品数の減少や来場者数の減少が課題となっている。</p> <p>新規出品者が増えるよう、高校への働きかけや更なる周知・広報に努めたい。</p> |

| 学識経験者の意見 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11       | <p>○第65回という歴史ある美術展が本市にあることが誇らしい。出品者数・出展者数・来場者数全てが減少していることは残念であるが、特別企画展を実施するなどの取り組みは評価できる。美術館がない本市にとって、貴重な事業である。</p> <p>○本美術展の出展経験から、さらに他県や世界の美術展に挑戦する芸術家を輩出する格調高い美術展として継続されるようお願いしたい。そのためにも、市民がもっと総合美展に足を運んだり出品作品を制作するなど芸術に触れる機会が増えるよう検討されたい。</p> <p>○総合美展への市民参加の取り組みの一つとして、年度当初に企画してグループや家族で作品を制作するコーナーを設けたり、美展に展示されている作品の見方を解説するブースや体験コーナーを設けるなどして、気軽に参加できるような工夫をされてはどうだろうか。</p> <p>○美術の振興や地域文化の発展の観点から人吉球磨総合美展はこれまでに大きく貢献しており、今後とも充実してほしいと希望する。</p> <p>○本美展の更なる発展には人吉市の取り組みだけでは厳しいので、球磨郡の自治体と連携した取り組みを検討した方が良くのではないかと考える。</p> <p>○課題である出品者や来場者の拡大対策として、市ホームページ、広報ひとよし、新聞等の掲載による周知や郡市の中学、高校の美術部、写真部、書道部への出展の働きかけをお願いしたい。</p> <p>○展示場所等の都合もあると思うが長期間の展示や、市ホームページで入選作品を紹介するなどの創意工夫を希望したい。</p> <p>○市民に対して開催周知が不十分と感じる。美展の開催を他の行事等と抱き合わせて開催すれば集客に繋がるし、ひいては芸術に触れる機会が増えるのではないだろうか。</p> <p>○市民参加型として、小・中学生を含めて参加者を募集し、多くの人で作り上げる作品を作成して展示する取り組みはできないか。郡市の小・中学校、高校、自治体等、関係団体に働きかける必要がある。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                  |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12       | 総合評価 | 地域文化発展の観点から事業の継続は必要であり、さらなる発展が期待される。<br>出品数や来場者数の拡大対策が必要であり、市民誰もが参加できる取組等を検討する余地があることから「B」を選択した。 |
|          | B    |                                                                                                  |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
|----------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------|------------|---------------------------|
| 1        | 事業名                                              | 史跡人吉城跡保存整備事業                                                                                                                                                                                                                                        |            |                            |            |                           |
| 2        | 担当課名                                             | 歴史文化課                                                                                                                                                                                                                                               |            | 担当者                        | 岸田 裕一      |                           |
| 3        | 総合計画における政策体系                                     | 政策                                                                                                                                                                                                                                                  | コード<br>2   | 名称<br>美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし | 施策         | コード<br>12<br>歴史文化遺産の保存と活用 |
| 事業の内容    |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
| 4        | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕                      | 来訪者、市民                                                                                                                                                                                                                                              |            |                            |            |                           |
| 5        | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕                       | 史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となる史跡としての保存整備・活用を進める。                                                                                                                                                                                          |            |                            |            |                           |
| 6        | 事業の概要                                            | 昭和36年の国史跡指定以降、昭和59年度策定の「保存整備基本計画」、平成22年度策定の「保存管理計画書」に基づき史跡の整備等を行ってきたが、平成28年熊本地震の被害に伴い、史跡内の市役所庁舎の解体撤去により、史跡を取り巻く環境が大きく変化した。このような状況から、市役所麓町本庁舎跡地を含め、近世城郭、中世城郭一帯の保存活用・整備を検討するため、発掘調査を実施するとともに、平成30年度から「史跡人吉城跡整備基本計画」策定に着手し、令和元年度に策定を終え、その後計画に従い整備を進める。 |            |                            |            |                           |
| 7        | コスト内訳                                            | 年度                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成29年度（実績） | 平成30年度（実績）                 | 令和元年度（見込み） |                           |
|          |                                                  | 合 計                                                                                                                                                                                                                                                 | 4,612千円    | 12,975千円                   | 14,014千円   |                           |
|          | 財 ① 国庫補助金                                        | 2,300                                                                                                                                                                                                                                               | 6,460      | 7,007                      |            |                           |
|          | 源 ② 県補助金                                         |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
|          | 内 ③ 起 債                                          |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
|          | 訳 ④ その他                                          |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
|          | ⑤ 一般財源                                           | 2,312                                                                                                                                                                                                                                               | 6,515      | 7,007                      |            |                           |
| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                            |            |                           |
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | 整備基本計画の策定を進めるにあたり、有識者による意見等を参考として整備基本計画の作成を進めている。計画策定の中では市民意識の調査として、人吉城跡の価値を改めて伝えるとともに、解説付きで人吉城跡を歩く人吉城歴史さんぽを企画、11月に近世城郭編を、2月に中世城郭編を実施し、計118名の参加があった。さらに、麓町本庁舎跡地の発掘調査中に、現地説明会を開催した。                                                                  |            |                            |            |                           |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | 平成30年度には、人吉城跡を歩きその印象について拝聴するイベントを実施した。しかし、現在進めている整備基本計画案に対しての市民意識調査は行っていない。今後は、市民向けシンポジウムの開催やパブリックコメント等により整備計画についての周知を行い、麓町本庁舎跡地の利活用を含めて検討を進めていく必要がある。                                                                                              |            |                            |            |                           |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|-----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               |           | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 10            | 今後の事業の方向性 | A    | <p>国指定史跡内に含まれる市役所麓町本庁舎跡地の利活用を考える上で、人吉城跡整備基本計画の策定やその跡地の発掘調査は、今後麓町本調査跡地の誠意を含めて、計画的に史跡の整備を行っていく上で必要不可欠なものである。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 学識経験者の意見      |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 11            |           |      | <p>○整備事業を進める上で市民の意識を高めることは重要である。解説付きで人吉城跡を歩く人吉城歴史さんぽの企画、近代城郭編、中世城郭編の実施、さらに発掘調査中の現地説明会実施は大変素晴らしい。このような企画を重ねて参加者の層を厚くしていく努力をお願いしたい。</p> <p>○相良藩の歴史が周知でき、歴史好きな方が集まってくるような場となるよう整備を期待する。</p> <p>○発掘体験会を実施されているが、関心の高い方のみが参加する傾向にあると感じる。</p> <p>○本事業を実施していく上で、今後の課題や改善でも記載されているとおり、市民の意識調査は必要と考える。</p> <p>○歴史的な文化財の発掘調査後のデータは資料館にて保存し公開していけば、必ずしも復元は必要としないと思われるので、用地の有効利活用（イベント時の駐車場利用等）を図ってほしい。</p> <p>○発掘は、調査期間の区切り（終結見込み）をつけて実施し、次のステップ（用地の有効利活用）へ早急に進むようお願いしたい。</p> |

| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                                                                                      |
|----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 |                                                                                                                                                                                                      |
| 12       | A    | <p>人吉城跡の価値を伝えていくために様々なイベントを企画し実施していることから、特に問題もなく進捗状況も順調である。</p> <p>今後は、市民意識調査を行い、市民向けシンポジウムの開催やパブリックコメント等により、広く整備計画について周知し、麓町本庁舎跡地の利活用を検討されたい。</p> <p>国史跡指定文化財の保存には、計画的な整備は極めて重要であることから「A」を選択した。</p> |

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：平成30年度事業)

| 事業名・担当部署 |              |          |          |                                |     |                     |
|----------|--------------|----------|----------|--------------------------------|-----|---------------------|
| 1        | 事業名          | 童話発表大会事業 |          |                                |     |                     |
| 2        | 担当課名         | 図書館      |          |                                | 担当者 | 立山 健介               |
| 3        | 総合計画における政策体系 | 政策       | コード<br>2 | 名称<br>美しき相良700年の歴史<br>文化都市ひとよし | 施策  | コード<br>9<br>社会教育の充実 |

| 事業の内容 |                             |                                                                                                                                                                                                                                      |            |  |            |  |
|-------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--|------------|--|
| 4     | 誰のために行うか<br>〔具体的な対象者・受益者など〕 | 人吉球磨在住の小学生及び保護者                                                                                                                                                                                                                      |            |  |            |  |
| 5     | 何のために行うか<br>〔目的・ねらい・コンセプト〕  | 子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図るため。                                                                                                                                                                            |            |  |            |  |
| 6     | 事業の概要                       | <p>①人吉市及び球磨郡内の小学校（分校も1校と見なす）・特別支援学校から推薦された児童による童話発表大会。</p> <p>②童話（日本、外国及び創作もの）、昔話等児童の読みものを、1年生～2年生は5分以内、3年生～6年生は7分以内で発表。</p> <p>③平成30年度は、カルチャーパレス小ホールで開催し、小学校推薦の28名が参加。その中から最優秀賞2名、審査員賞6名を表彰した。なお、最優秀賞2名は、熊本県大会へ人吉・球磨の代表として推薦した。</p> |            |  |            |  |
| 7     | コスト内訳                       | 年度                                                                                                                                                                                                                                   | 平成29年度（実績） |  | 平成30年度（実績） |  |
|       |                             | 合 計                                                                                                                                                                                                                                  | 199千円      |  | 199千円      |  |
|       |                             | 財 ① 国庫補助金                                                                                                                                                                                                                            |            |  |            |  |
|       |                             | 源 ② 県補助金                                                                                                                                                                                                                             |            |  |            |  |
|       |                             | 内 ③ 起 債                                                                                                                                                                                                                              |            |  |            |  |
|       |                             | 訳 ④ その他                                                                                                                                                                                                                              |            |  |            |  |
|       |                             | ⑤ 一般財源                                                                                                                                                                                                                               | 199        |  | 199        |  |
|       |                             |                                                                                                                                                                                                                                      |            |  | 186        |  |

| 事業の成果と課題 |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8        | 成果・実績<br>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 | <p>本事業は昭和59年度に人吉球磨広域図書館として開設以来、平成30年度で第34回を迎えた。（それ以前は人吉市の児童により開催。）</p> <p>図書館では大会通知を各学校宛て5月下旬に行っているが、関心の高い児童や保護者の皆様は5月中旬頃から来館し、発表作品を選書している。選書の一助となるよう館内カウンターでは、過去発表作品の目録と講評集を冊子にして2部提示している。</p> <p>大会出場児童は各学校代表の1名となるが、ほとんどの学校で、各クラス、各学年、各学校等で予選会を開催しており、結果、多くの児童が一生懸命童話発表に取り組むことで、読書への動機付けや、読書意欲の向上、ひいては心豊かな成長に資することができた。</p> <p>なお、30年度は熊本県大会において人吉西小の児童が熊本県立図書館長賞を受賞している。</p> |
| 9        | 今後の課題や改善等                                        | <p>童話発表大会用の題材を探し求める親子連れに対し、過去の発表作品の目録や講評集を提示している。作品自体を特集展示するコーナーを設けたいが図書館が狭隘なため現在設置できていない。</p> <p>また、当日の会場における聴衆者が、出演者の学校や家族関係者に限られている。</p>                                                                                                                                                                                                                                      |

| 事業の評価と今後の事業計画 |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-----------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               |           | 総合評価 | 左の「総合評価区分」を選択した理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 10            | 今後の事業の方向性 | B    | <p>本事業は熊本県図書館活動振興協議会球磨支部との共催によりスムーズに運営されている。熊本県大会の予選も兼ねている本大会は、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>今後は、一般聴衆者の参加を増やすためPTA等への案内チラシを配布するなどPRや広報等の工夫が必要であると思われる。</p> <p>また、児童や保護者が童話発表大会をきっかけに読書にもっと興味を持てるよう、館内展示やフェイスブックなどのSNSを活用した情報発信を強化する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 学識経験者の意見      |           |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11            |           |      | <p>○各学校では年間行事計画に校内大会を位置づけ、年度当初から授業や学級経営の中で計画的に取り組んでおられる。各学校の積極的な取り組みにより、非常に高いレベルで発表会が行われていることは喜ばしい限りである。このように、年間計画に位置づけた取り組みが継続されるよう、今後も関係団体と連携を密にして取り組まれることを望む。</p> <p>○本事業は、子どもたちの学力向上、とりわけ読書意欲の向上を図るうえで重要な事業と思うが、今後の課題でもあり、発表会の際の聴衆者が限られていることが残念である。</p> <p>○より多くの市民の方に聴取してもらう有効な方法として、例えば多くの方が訪れる歳末助け合い演芸会などのイベントの中で入賞作品の発表を行うほか、市ホームページで童話大会発表の動画をアップするなど、PRや広報対策を検討してほしい。動画は、全世界に配信されるので、個人からの承諾や個人情報など注意しなければならない部分は多い。</p> <p>○子ども達にとって、とても良い事業であるが、聴衆が少ないことは残念である。図書館まつりに併せて実施されたものの一般の聴衆者は少なかった。他の事業と併せて開催するなど、開催日、場所等の検討が必要である。</p> <p>○積極的に参加する者と消極的な者の差が大きい。</p> <p>○発表者の属するクラス、学年全員が応援に来るような取り組みはできないか。</p> <p>○入賞者が市内の他の学校に発表に出向くことはできないか。</p> <p>○優秀賞を受賞した子が発表した本を紹介するコーナーを設けてほしい。コメント付きで照会すればどうか。（本を選択した理由なども）市ホームページで公開はできないだろうか。</p> <p>○市役所2階まで上がらずに1階に特設コーナーを設けて展示などはないだろうか。</p> |

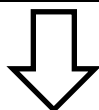
| 教育委員会の評価 |      |                                                                                                                                |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 総合評価 |                                                                                                                                |
| 12       | B    | <p>子どもたちの読書意欲の向上の観点から有意義な事業であり、継続することが望ましい。</p> <p>しかしながら、入賞目的の大会となることなく所期の目的達成のための取り組みや、大会の実施、広報活動等に改善の余地があることから「B」を選択した。</p> |

## < 教育方針 >

### 《 基 本 理 念 》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



### < 教 育 目 標 >

#### I 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツなどに親しむことを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

#### II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

#### III 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

#### IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。